

相談支援従事者指導者養成研修

ケアマネジメント基礎コース

令和6年6月20日(午前)

実践報告

【BPSモデルに基づいたアセスメントの初任者研修の導入と実践報告】

長野県 上小圏域基幹相談支援センター
所長 橋詰 正

アセスメントとは(1)

【定義】

本人の夢・希望の実現や課題の解決に向け、
必要な根拠(情報)をおさえ(収集し)、整理・分析する。

【具体的には】

例 ・本人の人となり

- ・本人の夢・希望、解決したい課題。
- ・それに向けて必要な状況把握
(本人や環境に関する多角的・総合的な情報)

・支援者自身の考え、本人像の解釈、支援の方向性

・そのための手立て

情報を集めるだけじゃないんだ!

どんな情報をとればいいのか?

情報の分析?????

アセスメントとは(2)

(1)情報の収集

「なんでそんなこときくの?」に答えられる質問ですか?

本人のゴール・解決したい課題に向け必要な情報を得る。

(2)ニーズ整理

ヒトの頭の中では、これらが同時並行的に情報処理(認知・判断)されているよ!

- ・**援助者(自分)の判断の根拠**を可視化、言語化する。
- ・本人の意思、客観的状况、支援者や周囲の判断を分けて整理する。Ⓜ基本原則: 本人の言葉や意思・選好からはじまる。

◎前提となる、相談支援の目的と基本的視点は不変

アセスメント票は…

整理・分析の補助をするための可視化ツール
偏ったみかたにならないように「鳥の目」の効果
票の網羅がアセスメントではない!
ツールは多種多様です。道具選びと使いこなし!

インテーク

情報の収集

ニーズ整理

情報の整理・分析

広義のアセスメント

参考：総合的・多角的なアセスメントの枠組み例（厚生労働省ケアガイドライン）

一次アセスメント票		受付No.	作成者氏名	作成日
ふりかき 氏名	性別	住所 (〒 -)		
生年月日	歳	連絡先		
本人の要望・希望する暮らし、困っていること・解決したいこと ここからはじめる。ここを一緒に作り出す。				
家族の要望・希望する暮らし、困っていること・解決したいこと				
希望する一日の流れ				
本人 平日 6 9 12 15 18 21 24 3 休日				
生活状況(普通の1日の流れ) どのようなリズムをもっている人でしょうか。				
本人 平日 6 9 12 15 18 21 24 3 休日				
【その他の1日の生活の流れ】 ※いくつかの1日の生活があれば、別紙に記入				
本人 平日 6 9 12 15 18 21 24 3 休日				
本人の概要 生活歴(病歴含む)				
【過去(これまで)】も大事です。 ・どのように暮らしてきたか。 ・どのような経験をしているか。 ・どう育ち、どのような価値観をもっているか。など 『ひとりひとりの物語があります。』 (ライフヒストリー、ライフストーリー) 『いきなりは聞きにくいですが、本人像の理解にも役立ちます。』				
【ジェノグラム】		【エコマップ】		
パツと書けるようにしましょう。 書き方の本はたくさんできています。		【人間関係】【社会とのつながり】を幅広く捉えます。 『本人にとっての「地域」とはなにかをつかみます。』		

利用者の状況		状況・意思		支援者の気づき	
項目	現状	本人の希望	本人の選好	記入者	記入者以外(専門的アセスメントを含む)
1 生活基盤・日常生活に関する領域					
住環境					
経済環境					
2 社会参加に関する領域(教育、就労を含む)					
趣味・旅行レジャー					
ボランティア					
当事者団体の活動					
自治会への参加					
その他各種					
社会的活動					
就労					
3 コミュニケーションや意思決定、社会生活技術に関する領域					
意思表明					
意思決定					
他者からの意思伝達の理解					
コミュニケーションツールの使用(電話、FAX、パソコン、タブレット、インターネット)					
村人関係					
屋外移動やその手段(長距離、遠距離)					
金銭管理					
4 日常生活に関する領域					
身のこた					
調理					
食事					
入浴					
清掃・整理整頓					
洗濯					
書類整理・事務手続き					
買い物					
5 健康に関する領域					
体力					
健康状態					
医療機関利用状況					
医療費・健康保険					
障害					
6 家族支援に関する領域 ※必要に応じて加除する。					
父母					
姉					
妹					
対応者所見のまとめ					

客観的事実やデータ

本人の表明

選好の解釈

記入者の解釈

その他の他者の解釈

本人の(推定)意思

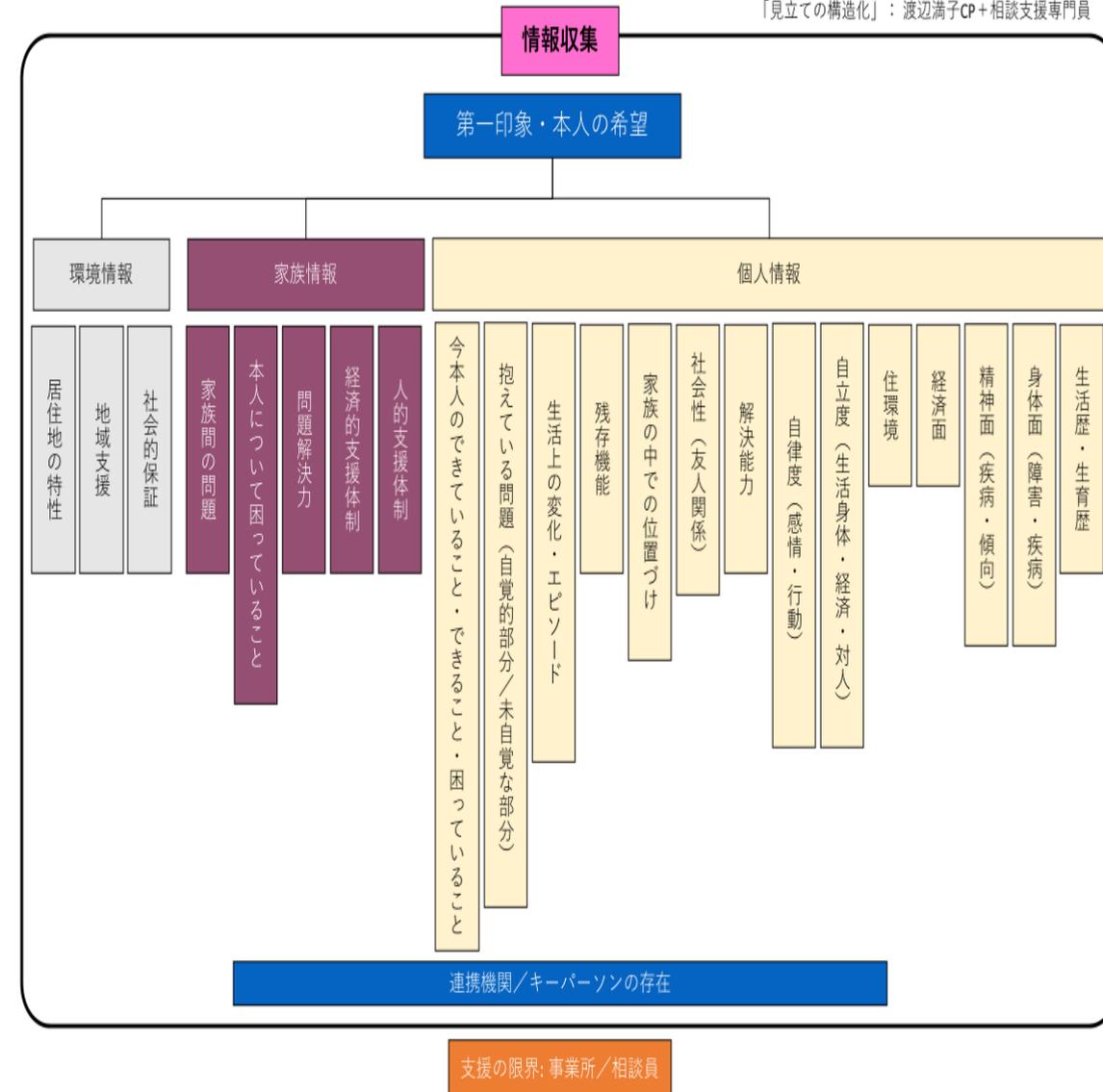
他者の解釈が介在

意図をもって集めた情報を整理します。(情報の取捨選択から整理と分析です。)

・多角的な検討や必要な視点が落ちていないかの確認に有効です。
・網羅すること(埋めること)がいいアセスメントではありません(あまりに聞けていないのも困るが)。

参考：総合的・多角的なアセスメントの枠組み例（見立ての構造化）

「見立ての構造化」：渡辺満子CP+相談支援専門員



インタビュー・アセスメントの留意点

【情報の収集の留意点】相談面接技術が大きく影響すると心得る！

- ① 表出された言葉や意思、選好の意味や背景を探る問いを多様に用意する。
- ② 多様な手段や情報源を活用する。
 - ・面接(言語・非言語)
 - ・経験の共有(見学、同行、体験等)
 - ・周囲からの情報収集など

→ 本人の言葉の背景・真意を理解する。
→ その前提となる本人像を多角的に捉える。

【復習】

情報保障や意思疎通に支援が必要な利用者があることに留意する。

ニーズ整理の留意点

①「見立て」ができるようになるろう。

支援者自身が

- a.どのような情報を得て、
- b.どのような解釈をし、
- c.どのような方針をたてるか。

② アタマの中を整理できるようになるろう。

- ・事実 本人の意思、客観的事実
- ・自分の考え 自分の解釈
自分の支援方針

③「手だて(プランニング)」は一旦置いておこう。

本人の言葉・本人の(深めた)理解から始める。
対応から入らない。

普段自分のアタマの中で、同時並行処理していることを…
可視化し、整理する

初任者研修で大切な アセスメントの可視化ツールの導入

- 標準化カリキュラムの意図
(質の向上に向けた研修カリキュラムの変更の経過の理解)
- 都道府県ツールとの比較・共有化
アセスメントからニーズ整理までの思考の視覚化により、真のニーズや見立ての仮設の根拠を示す研修ツールとなっているかの自己点検をお願いします！

※発表する目的とアセスメント力を養う目的の両方がある演習です

研修全体の構造と流れの再確認
(役割分担型のその日のコマの企画の張り合わせではない)

- 最終的にねらう相談支援の質の向上に向けた研修の入口に位置付けています
構造化された研修システム:初任⇒現任⇒主任への流れの中で、最初に受講するのが初任者研修ですが、相談支援を継続されている方は、現在の研修カリキュラムでは、BPSモデルを学ぶ機会がない課題の解決方法も検討が必要になると感じています。

ケースレポート力を養う (実践モデルを業務にする)

人材が育つチームを作るためのトレーニングのための技術です。初任者・現任研修の演習(アセスメントの説明・サービス担当者会議での計画説明など)でも取り入れています。これも現場でのトレーニングの準備です。

自分できちんと話そうとすることで、本格的なディスカッションやスーパーバイズが出来るステージが整得られていくわけです。

ケースレポートの力を身に付けられる職場・地域になることを目標にしています。

そして、スーパービジョンの実践とも連動することになります。

頭の中で想像し、本人を理解・解釈・仮説をする

本人が表明している
希望・解決したい課題

理解・解釈・仮説を立てる

情報の整理(根拠を掴む)
見たこと・聞いたこと・データ等

理解・解釈・仮説を修正

限られた時間内に説明できること
で明確な支援検討が出来る



市町村・圏域内で基礎研修の導入が必要

(法定研修では、演習講師養成は必須)

可視化ツールを、相談実践の振り返りとして活用する

ケアマネジメント検証

都道府県 演習講師養成

演習・実施でのSV

地域のOJT実践
個別SV・GSV

相談支援連絡会

インタビュー		アセスメント	
情報の整理 (見たこと、聴いたこと、データ等：事実)		理解・解釈・仮説 (作成者のとらえたかた、解釈・推測)	
<p>本人の表明している希望・解決したい課題</p> <p>働きたい</p>  <p>働きたい願いのケースに就労支援がマッチング出来ずに困っています。</p>	<p>(作成者のおさえておきたい情報)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体調不良で受診して服薬をしていることから、朝起きれない生活リズムですごされている ・友人がちゃんと働いていて車で彼女とドライブしている話を時々されている ・病院で知り合った彼女はとても理解ある人で時々電話をする ・一流企業勤めの両親と兄がいるが、まだ話したことは無い 	<p>本人</p> <p>【生物的事実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 働ける体調に不安を抱えているのではなか <p>【心理的事実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 就労していない自分を自己否定しているのではないか <p>【社会性・対人関係の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> 彼女との結婚を切望しているのではなか 	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> エリート過程で育ち、自分にも早く自立して欲しいと両親は願っているのではなか
	<p>家族はどう思っているの？</p> <p>働けない体調や原因は？</p> <p>なぜ働きたいと思っているのだろう？</p> <p>友だちは、どんな方がいる？</p>		



市の担当者に計画相談の支給決定の相談をして、就労移行事業所の見学とハローワークの求職登録に同行しましたが、その後の支援ビジョンが描けません。本当に働きたいのか？働く気持ちの準備が出来ているのか本心が掴めず、今後のどうしようかと思っています。

- 考察・振り返り(気づき) ※アイデアの選択
1. 主治医や通院先の病院から、働く応援のために意見を聞いてみたい
 2. 現在の楽しみや得意な事から、今の悩みが聞ける関係作りを目指してみる
 3. ご家族との面会を伺ってみる

ケースレポートをする実践の準備・実践・振り返り (ケアマネジメント検証/個別SV/GSV/事例検討)

準備期

働きたい願いの
ケースに就労支援
がマッチング出来
ずに困っています。

働きたい願いの
ケースで本人の本
音が聞けないで
困っています。
本人との関係を作
るためのアイデア
とっ下さい



実践期

グループメンバーは、ケースレビューを受けて、何を
理解し・何のアイデアを出すかを入り口で理解する
(トレーニングで導いていく育成過程)



質問は、目的が理解で
きて、本人を理解す
るための質問をしな
がら、仮説や解釈を
してアイデア準備
する
(事例提供者と一緒に
アセスメントしてい
る)

自分の相談支援の癖・傾向を客観的に振り返るツールでもある

現在使用されている
アセスメントシート



- 😊
 - 😐
 - 😞

アセスメントシート



インテーク		アセスメント
情報の整理 (見たこと、聴いたこと、データなど：事実)		理解・解釈・仮説 (作成者のとらえたかた、解釈・推測)
本人の表明している 希望・解決したい課題	(作成者)おさえておきたい情報	【生物的事項】 【心理的事項】 【社会性・対人関係の特徴】
		本人
		環境